



全国王者の誇りを胸に、 県大会へ

8月2日、中部消防署（粕屋町）で開催された「第56回糟屋地区消防操法大会」に、町代表として第2分団と第4分団が出場しました。

町消防操法大会から1か月あまりの期間、連日の酷暑のなか、夜間や休日の訓練に励み大会に臨みました。

第2分団はポンプ車の部で今までの訓練の成果をいかに発揮し、新宮町の操法技術の高さを十分に見せてくれました。

小型ポンプの部に出場した第4分団は、令和4年に全国優勝という実績を持つ強豪分団です。今年も安定した操法で2位に入賞し、福岡県大会への出場を決めました。全国の舞台を再びめざし、さらなる飛躍が期待されます。



▲的をめがけ、正確に放水



▲素早くホースを搬送



▲大会会場に並び、各消防団ののぼり

本の楽しさを、みんなに広めたい！



▲どんなPOPを作ろうかな？



▲読みきかせの絵本を選ぶ受講生たち

夏休み期間中、本が大好きな小学5年生～中学生を対象に「新宮子ども司書養成講座」（全2回）を実施しました。

講座では図書館の本の並べ方のルールや絵本の読みきかせの方法、レファレンス（本を使った調べもののお手伝い）の方法を学びました。また、読書の楽しさを周りの人に伝えるための活動として、本の紹介をするPOPの作成と特設コーナー「ガチャ本」づくりを行いました。

受講生からは「いろいろな本ともふれあえて、参加してよかった」「図書委員会でも、子ども司書でやったことを生かそうと思った」「もっとおすすめの本を紹介したい」という感想が寄せられました。今後子ども司書たちは、町立図書館のおはなし会などで読書の楽しさを広めていきます。



▲子ども司書が作成したPOP

異国での経験を未来へつなぐ

8月3日～8日の6日間、小中学生海外派遣事業として、新宮中学校、相島分校、新宮東中学校の1年生20人をニュージーランドのオークランド市へ派遣しました。

この事業は、異国の言語、歴史、文化などを広く見聞し、同世代の子どもたちとの交流を通じて国際的視野を広め、社会に貢献できる人材を育てることを目的としています。

派遣先ではRiverhead School^{リバーヘッド スクール}の7年生・8年生と交流し、学校の授業や施設を案内してもらったり、日本文化や新宮町を紹介したりしました。最後は一緒に新宮音頭を踊って、充実した異文化交流ができました。



▲全員で KIA ORA! (マオリ語の挨拶)



▲法被をプレゼントして新宮音頭を踊りました

夏休み、楽しく体験しました!

町教育委員会主催で町内の小学生を対象に「夏休みこども講座(全8講座)」を開催しました。パンづくりや理科実験、DIYなど普段なかなかできない体験に挑戦しました。子どもたちは、講師の説明を聞きながら、友だちや保護者と一緒に楽しく取り組みました。「楽しかった」「上手くできたときほめてくれた」と笑顔もいっぱい。子どもたちにとって、楽しく学びながら新しいことに挑戦する夏休みのひとときとなりました。

虹色タワーできたよ! ▶
(理科実験教室)



▲英語を聞いて、弾んで学ぼう!(運動教室(低学年))

チーム一丸でつかんだ九州大会優勝!

8月1日、大崎町総合体育館(鹿児島県)で「第13回九州ブロック親善ドッジボール大会」が開催され、九州各県の代表13チームが熱戦を繰り広げました。

町スポーツ協会所属のSE LINKSは、鹿児島県代表などの強豪チームと対戦し、予選を1勝1敗で勝ち抜くと、決勝トーナメントでは4勝を挙げ、見事優勝を果たしました。

選手たちは、昨年準優勝に終わった悔しさをバネに日々の練習に励んできました。大会では、苦しい場面でも笑顔を絶やさず、声を掛け合ってチームを盛り上げました。



▲優勝の喜びに笑顔を見せる選手たち



ワクワクいっぱい！ 夏休みの思い出たくさん！

今年で27回目を迎える町文化協会主催「夏休みこども体験教室」が、そぴあしんぐうとシーオーレ新宮で開催されました。楽器演奏や茶道体験など21教室に参加したこどもたちは、日ごろ体験できないことにも取り組み、夏休みの楽しい思い出ができました。



▲篠笛の演奏にチャレンジ (竹笛塾)

福岡ライナース 小学部・中学部そろって活躍！

7月11日～12日に今津運動公園(福岡市)などで「第3回木製バット限定少年野球大会」が開催されました。町スポーツ協会所属の福岡ライナース小学部は、13チームが参加した大会で予選リーグを勝ち抜き、決勝に進出しました。最後まで集中力を切らず戦い抜き、見事優勝を果たしました。



▲努力とチームワークで勝ち取った準優勝 (中学部)

また、7月18日～20日、光陵グリーンスタジアム(宮若市)で「第9回宮若市長杯争奪ヤングリーグ九州宮若大会」が開催され、県内外から24チームが参加しました。福岡ライナース中学部は、3年生わずか2人という2年生主体のチームながら、決勝まで勝ち上がり、準優勝を果たしました。

学年を超えた仲間との絆が実を結んだ準優勝という結果に、チーム全員で涙を流し喜びを分かち合いました。

地域おこし協力隊(看護師)が相島へ着任しました



▲地域おこし協力隊(看護師)の砂場さん(右から2番目)

相島では、医療福祉の課題解決のため、地域おこし協力隊の看護師が活動しています。現在1人の隊員に加え9月1日にもう1人の看護師が着任しました。これまでの医療分野での経験を、島での医療福祉に役に立てたいとの熱い思いを胸に相島へ移住してきました。

前任の看護師とともに、島内の高齢者への療養指導や健康相談などの地域活動を行います。

相島の高齢化率は約60%であり、緊急時には交通手段が限られるなど、離島ならではの課題もあります。島民のみなさんが毎日安心して暮らせるように、看護師2人のこれからの活動に大きく期待しています。